

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大東市新田北町社有地開発計画に	階数	地上5F
建設地	大阪府大東市新田北町69番	構造	S造
用途地域	工業地域、指定無し、法22地域	平均居住人員	0人
気候区分	5地域	年間使用時間	3,900時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年11月2日
敷地面積	12,133 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱ 浅倉幹夫
建築面積	5,877 m ²	確認日	2015年11月2日
延床面積	22,637 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱ 浅倉幹夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み: 79% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の: 79%</p> <p>④上記+: 79%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>敷地内に府条例による緑化を配し、景観及び温暖化防止を考慮。 建物については、用途は倉庫であるが、外壁材: ALC t=100、屋根: 断熱材を充填したダブル折版とし建物断熱を考慮。</p>		<p>その他</p> <p>現況敷地のレベルを極力そのまま利用し、造成工事によるエネルギーの発生させず、敷地外環境への影響も発生させない。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>外壁材: ALC t=100、屋根: 断熱材を充填したダブル折版とした断熱計画とし換気扇設置による風通しのいい空間を考慮。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>倉庫内はオープンなスペースとすることにより、保管物のフォークによる搬出作業を効率化し、また保管スペースのフレキシブル対応の可能なように考慮。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内に府条例による緑化を配し、景観及び温暖化防止を考慮。 建物外周のトラック走行をワンウェイとし安全を考慮。 また、トラックの走行スピードを規制し、騒音防止を考慮。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁材: ALC t=100、屋根: 断熱材を充填したダブル折版とし室内への断熱を考慮。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体材料の殆どを鉄骨及び鉄板とするリサイクル資材を使用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>倉庫エリアでは空調機を設置せず、通風と換気扇による十分な自然換気を行うことにより、CO₂の発生をさせず、騒音・振動等も発生させない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0071

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】		建物名称	大東市新田北町社有地開発計画に伴う物流倉庫新築工事					
		建設地	大阪府大東市新田北町69番					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
					住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				4.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								